

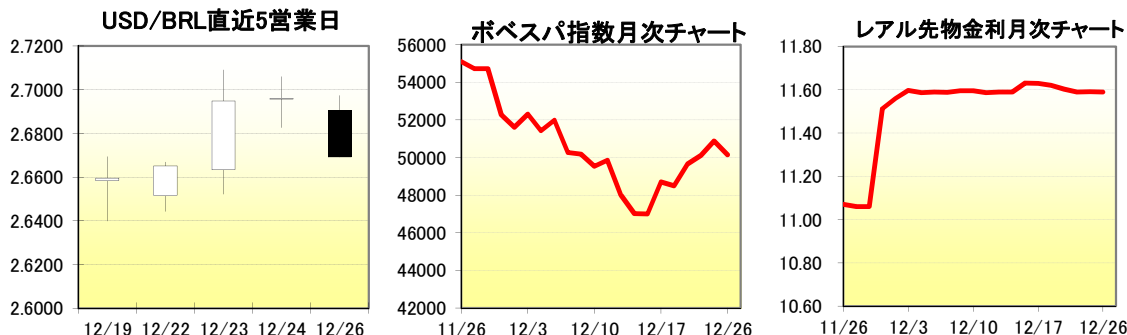
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			12月19日	12月22日	12月23日	12月24日	12月26日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.6600	2.6650	2.6950	2.6955	2.6690	-0.0265
	USD/YEN	Spot	119.51	119.99	120.73	120.77	120.39	-0.3800
	EUR/USD	Spot	1.2225	1.2227	1.2177	1.2174	1.2177	+0.0003
	BRL/YEN	Spot	44.94	45.02	44.80	44.81	45.10	+0.2900
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	2.10	2.01	1.90	1.90	2.01	+0.1110
		1Year(p.a.)	2.42	2.42	2.39	2.39	2.53	+0.1440
	Real Interest	6MTH(p.a.)	12.56	12.53	12.56	12.56	12.59	+0.0266
		1Year(p.a.)	12.92	12.87	12.91	12.91	12.94	+0.0291
Stock	Bovespa		49,651	50,121	50,890	50,890	50,145	-745.18
Bond	CDS Brazil 5y		191.00	182.67	183.50	183.50	183.95	+0.4500
	Global 40		106.750	106.850	106.850	106.600	106.600	u.c.

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
なし			

3. 要人コメント

なし

4. 週間市況、トピックス

- ・ 今週の為替相場はUS\$1=R\$2.6650で寄り付いた。
- ・ 週初のレアル相場はクリスマス控えて流動性が大きく低下し、特段材料に乏しい展開となった。
- ・ レアルは寄付き後2.66台前半まで売られるも、一時的に買い戻しが見られた結果、週間高値となるUS\$1=R\$2.6440を付けた。しかし米シカゴ連銀全米活動指数が予想を大きく上回ったことからドル買いが見られると、レアルは2.66台前半まで反落した。
- ・ 翌23日には米GDP第3四半期が発表され、約10年振りの高い伸びを示し、個人消費や企業設備投資が改定値から上方修正されドルは対主要通貨で大きく上昇、レアルは一気に週間安値となるUS\$1=R\$2.7090まで急落した。
- ・ クリスマス明けの26日には特段材料に乏しい中、ポジション調整と思しきドル売りレアル買いの動きが見られ、レアルは2.67台前半まで買い戻され、結局US\$1=R\$2.6690で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
12-29	FGVインフレIGPM(前月比)	Dec	0.67%	0.98%
12-29	FGVインフレIGPM(前年比)	Dec	3.74%	3.66%
12-29	中央政府財政収支	Nov	-1.3B	4.1B
12-29	純債務対GDP比	Nov	36.10%	36.10%
12-29	基礎的財政収支	Nov	-1.6B	3.7B
2-1	HSBCブラジル製造業PMI	Dec	--	48.70
2-1	CNI設備稼働率(季調済)	Nov	--	0.806
2-1	自動車販売台数(ブラジル自動車販売店連盟)	Dec	--	294,648

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.58—2.70

今週はクリスマスのためレアル相場の流動性は限定的となり、ボラティリティーは高い状態となったが、それでも約2%程度のレンジで取引された。来週は年末年始の週であるため、引き続き特段材料に乏しい展開が予想される。来週は国内ではインフレ指数やHSBCブラジル製造業PMIが注目され、海外では米ISM製造業景況指数や米消費者信頼感指数等が注目される。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。